

1 月 24 日 : VN 指数は続伸 (VN-Index +0.43%)

- 各社の決算発表が本格化するなか、本日の VN 指数は様子見ムードとなり、1260 ポイント付近の前日終値近辺を付けて開始した。
- 前場は薄商いであり、セクター毎の動きもまばらであった。
- 後場に入ると投資家は好決算を発表した銘柄を中心に買いを強め、相場全体が上昇基調となった。指数は大引けで一日の最高値を付けて本日の取引を終えた。
- 資本財・サービス、小売セクターが相場をけん引した一方で、情報技術セクターは軟調であった。
- 258 銘柄が上昇、195 銘柄が下落、61 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 7.5%減の 12.2 兆ドンとなった。

VN30 指数も堅調 (VN-30 +0.38%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、20 銘柄が上昇、5 銘柄が下落、5 銘柄が変わらずであった。
- MSN (+3.98%)が今日の相場を大きくけん引し、BCM (+1.91%)、MWG (+1.52%)がそれに続いた。
- 下落した 5 銘柄はどれも 1%以下の下落にとどまった。

セクター・個別株の動き

- MSN (+3.98%)が業績を発表した。2024 年第 4 四半期の売上高は 22.6 兆どん（前年同期比 9%増）、税引き後利益は 6,910 億ドン（同 1282%増）を記録した。子会社である Masan Meat Life、Masan High-Tech Materials の増収幅がどちらも 20%を超えたことが大きく寄与した。
- GEX(+6.88%)は、決算発表後にストップ高となった。同社は 2024 年通期で売上高 33.7 兆ドン（前年比 13%増）、税引き後利益 3.6 兆ドン（同 159%増）を計上した。特に、電気機器事業セグメントの成長が目覚ましかった。

- 外国人投資家はおよそ 6,340 億ドルの買い越しを記録した。主に LPB (+1.56%)、MSN (+3.98%)がけん引した。一方、本日の外国人投資家の売りは FPT (-0.58%)に集中した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。